

## 平成24年度事業報告書

### はじめに

本学は、平成24年度を新たな100年への飛翔の年と位置づけ、昨年度に引き続き様々な事業を展開した。

その事業の中には、本学創立100周年記念事業の一環である「創立100周年記念館」の竣工と、出版物「大阪歯科大学100年史」、「大阪歯科大学大学院50年史」の刊行がある。

「創立100周年記念館」は、多くの本学教職員、同窓生の浄財によって成し遂げられたものであり、地上4階建の独特のフォルムを持ち、大講義室、中講義室、小講義室、ゼミ室を備え、天満橋学舎における新たな教育拠点として平成25年4月にはいよいよ使用が開始される。

また、「大阪歯科大学100年史」、「大阪歯科大学大学院50年史」は、まさに本学の激動の歩みを活写して、同時に我が国における歯科医学の歩みをも俯瞰できるような構成となっている。

以上の記念事業に加え、本学が過去100年の間、社会に果たしてきた役割、そして、先人たちが築き上げてきた歴史と伝統という「誇り」と、これからの100年に向けてこの善き伝統を継承発展させていく「誓い」をモットーに学内改革を推し進めた。

この諸改革の遂行は、川添理事長・学長の提唱する「五つの力の目標」－募集ブランド力の向上、学力の向上、教育力の向上、人間性涵養力への注力、教員人材育成力への注力－を第一の柱とし、それに加え「三つの力」－学生の国際交流力増強、大学院力の増強、研究力の向上－を第二の柱として、これらが相まって原動力となったことは言うまでもない。

これらの柱を基調として、大学における教育、研究、診療と、歯科技工士、歯科衛生士両専門学校との連携協力を伴って、創立100年を経た歯科医学総合学園としての力量を発揮し、不断の学園改革を行い、私立歯科大学の置かれている厳しい状況に対抗していかなければならない。

激動の明治時代に、関西で一早く歯科医師の養成を目指した学校を作るという発想をもった創立者藤原市太郎先生の遺訓「学校経営事業は営利に非ず博愛公益のために努力するものなること」との建学の精神を、100年後の我々教職員は肝に銘じ、各人が「夢寝にも学校のことは年頭を去らず、一途其の興隆ならん事を希」うことを信条として職務に邁進しなければならない。

## 本学の沿革

本学は、大学歯学部歯学科、大学院歯学研究科、歯科技工士専門学校、歯科衛生士専門学校を擁する関西唯一の私立歯科医学総合学園である。以下に本学の沿革を年譜にして記載する。

明治44年（1911）12月に大阪歯科医学校が設立認可された。

明治45年（1912）1月に大阪歯科医学校が開校した。

（1月14日・創立記念日）

大正6年（1916）9月に大阪歯科医学専門学校が設立認可された。

昭和22年（1947）6月に大学令による旧制大阪歯科大学が設立認可された。

（6月18日・昇格記念日）

昭和27年（1952）2月に学校教育法による新制大阪歯科大学が設立認可された。

昭和36年（1961）4月に大学院歯学研究科博士課程が設置された。

昭和39年（1964）4月に大阪歯科大学歯科技工士専門学校が設置された。

昭和43年（1968）5月に大阪歯科大学歯科衛生士専門学校が設置された。

法人組織としては、大正6年9月に財団法人大阪歯科医学専門学校を設立した。昭和22年2月に財団法人大阪歯科大学、昭和26年（1951）3月に私立学校法による組織変更により学校法人大阪歯科大学となった。

平成9年（1997）4月楠葉学舎へ大学機能の移転を完了、天満橋学舎に新附属病院本館を建設し、牧野学舎と合わせ3キャンパスを持つ歯科医学総合学園として新体制をスタートさせた。

平成23年（2011）11月11日、国内・海外から多数の来賓を迎え盛大に創立100周年記念式典を挙行了した。

創立100周年記念出版物としては、次の4点を刊行した。

『大阪歯科大学のあゆみ・博愛と公益を目指して』（平成23年10月）

『大阪歯科大学創立100周年記念の葉（しおり）』（平成24年10月）、

『大阪歯科大学100年史』（平成24年12月）

『大阪歯科大学大学院50年史』（平成24年12月）

創立100周年記念事業最大のプロジェクトである創立100周年記念館の建設については、平成24年（2012）4月に起工式を挙行、建設工事が順調に進行し、平成25年（2013）3月に竣工した。

平成24年度事業計画は、次に示す6項目であり、その取り組み内容について各項目ごとに、その概要を記載する。

I.	教学（学部教育）の改革
II.	大学院力の量・質的増強
III.	教員人材育成力の改革
IV.	附属病院の改革
V.	両専門学校の改革
VI.	特別重点計画

### I. 教学（学部教育）の改革

本学は、優れたプロフェッショナルとしての歯科医師を養成することを通して広く社会貢献することが教育の目的である。そのため、教育および研究環境の整備に努め教育改革を進めていかなければならない。

平成14年度から「カリキュラム2000」を実施し、「知識教育」、「技能教育」、「態度教育」で構成され、臨床実習の開始を前にした第4学年次に臨床実習生としての能力を試す「共用試験（CBT, OSCE）」の実施へ向けて、学内環境の整備を行ってきたところである。これらを踏まえ、歯科医師養成のためにあるべき教育内容を再構築し、平成24年度第1学年から「カリキュラム2012」を実施した。これは明確な学年制を敷き、教育内容の充実に努めた。なお、従来から学生には授業計画を示したシラバス「学修の手引き」を配付しており、適宜自身で授業の進捗を確認できるようになっている。

### ○大学学部入試結果

本年度もオープンキャンパスを5回にわたり開催した。参加者の延べ人数は300名で、これまで開催した中で最多を記録した。内容は、本学の概要説明、現役生による学生生活の話なども取り入れ本学への親近感を高める努力をした。また、本学のHPやリクルート進学ネットに大学案内を掲載し、本学への注目度を高めネットを通じた入試資料要求も増加している。

入学者選抜方法としては、一般入学試験（前期・後期）、推薦入学試験（公募・指定校）であり、順調に実施された結果、128名の募集人員を極めてスムーズに確保した。また、平成23年度から開始した編入学入学試験は2年目を迎え、志願者が増加し、第2学年に10名が編入となった。

今後の課題としては、すでに以前から他の大学歯学部では取り入れられている大学入試センター試験の導入があり、鋭意検討している段階である。

### ○第106回歯科医師国家試験結果

新卒者は105名が受験し、合格者は78名で合格率74.3%、新卒者の私立歯科大学・歯学部の合格率は76.8%であった。既卒者を含めると182名が受験し、合格者は115名であった。

一方、全国では3,321名が受験し、2,366名が合格（全体平均合格率は71.2%）という結果であった。

次年度へ向けての第6学年学力向上に向けて、教職員一丸となって対応すべく計画を行っていくものである。

### ○新カリキュラムの導入1年目の改革

平成24年度からスタートした新カリキュラムは、次の11のコースが基本構成となっている。

- (1) 態度教育、(2) 教養教育、(3) 語学・情報科学教育、(4) 基礎科学教育、(5) 基礎系歯科医学教育、(6) 社会系歯科医学教育、(7) 臨床系歯科医学教育、(8) 総合医学系教育、(9) 第1～4学年歯科医学統合教育、(10) 歯科臨床教育、(11) 歯科医学統括教育

カリキュラム導入1年を経て、授業内容の一層の充実を図った。平成24年度中に、各試験の合格基準（65%）を改正し、厳格化を図ることで、学生に緊張感を持って受講する態度を醸成することとした。

### ○低学年次学力

第1学年の初年次教育については、特に歯科医師としての動機づけを学生に浸透させる機会として重視しているところである。本学出身の歯科医師を特別講師に招き、創立100周年記念出版物の一冊である『大阪歯科大学のあゆみ・博愛と公益を目指して』（平成23年10月刊行）をテキストに、歴史と伝統を誇る本学の歴史と歯科医師としての心構えについて熱弁をふるっていただいた。

また、推薦入学者、編入学者には、新年度に備えた入学前教育を行い、スムーズな教育ができるよう配慮した。

### ○学生生活指導

学生には、本学における学生が守るべきルールをまとめた小冊子「学生生活ハンドブック」を配付するとともに、在学生の態度規範向上に関して、本学教員が、学生登学時に楠葉学舎正門で挨拶を行う取り組みを行った。

学生部関係では、学園都市ひらかた推進協議会に加入する6大学が集まり、平成24年6月に本学楠葉学舎において、「枚方6大学学生部担当情報交換会」

を開催した。また7月には第1学年を対象に大阪府警察本部から講師を招いて「平成24年度薬物乱用防止講演会」を開催した。

### ○学習機会の拡大・充実

本学図書館では、学習機会の拡大充実のため、開館時間の延長を継続している。なお、大学ランキング2014年版（週刊朝日進学MOOK）学生一人当たりの図書貸出冊数は14.6冊で、昨年度に引き続き私立歯科大学・歯学部中Aランクに位置している。

### ○認証評価への取り組み

本学は、文部科学省・平成24年度「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業の一つ「医学・歯学教育認証制度等の実施」において、東京医科歯科大学申請の「歯学教育認証制度等の実施に関する調査研究」の連携大学に採択された。

これは、大学教育の質が社会的に注目を集めている中で、我が国の歯科医師養成の質保証の担保のため、歯学教育に特化して大学分野別評価につき、調査研究し、認証評価基準を策定のうえ、トライアルとして認証評価を行うもので、本学の歯学教育を国際基準に照らして検証するものである。

また、すべての大学に義務付けられている認証評価については、平成19年度に大学基準協会から認証評価を受けたところである。その後7年ごとの認証評価受審の時期に近づいており、このことについても鋭意取り組むべく準備を進めている段階である。

## II. 大学院力の量・質的増強

1. 大学院生の入学倍増計画
2. 大学院教員の増強
3. 募集定員の拡大、社会人院生の拡大
4. 外国人入学・受入れの奨励
5. 修士課程（衛生士、技工士）の増設

研究機関としての大学の機能を活性化させるため、その中枢をなす大学院の増強計画に取り組んだ。

平成24年度は21名の学生が入学し、平成23年度から実施している外国人留学生特別選抜入試では、学術交流校である中国の大学（南方医科大学）から2名の学生が入学した。

また、専門医コースの設置および修士課程の増設については、それぞれ設置に向けて検討を進めた。大学院修士課程については、大学院修士課程設置準備委員会が設置された。

### Ⅲ. 教員人材育成力の改革

1. 教員評価（平成21年度から実施）
2. 第5・6学年の天満橋学舎一貫教育
3. 講義室・自習室の増設
4. 大学院教授・教員の新規任用

#### ○教育人材育成力

教員評価を実施し教員一人ひとりが教育力、教育方法の改善を図ってきている。その一環として、教員評価の項目を定めた「教員評価実施規程」について、平成25年4月から施行すべく検討を進めた。

教員の教育への注力を図るため、教員の兼務、出張及び研修に関する内規を改正した。この内規は、教員が兼務、出張及び研修により勤務時間内に勤務場所を離れて勤務することについて一定の制限を加えるものである。

教員の資質の向上については、FD委員会が積極的に企画立案を行い、FD研修会を精力的に実施した。研修会では外部講師として、8月期のFDに日本歯科大学新潟歯学部の藤井一維教授、9月期、平成25年2月期のFDに関西外国語大学国際言語学部の森田健宏准教授を招聘した。

#### ○国際交流

国際交流の目的は、諸外国の大学等の相互の教育、研究の充実と発展を図り、同時に本学教員の資質向上ならびに学生の国際的視野の育成にある。

本学教員の海外での共同研究あるいは研究発表に関しては、61名に対して助成が行われているが、そのほかに中国5大学との共同研究では、本学への受入として北京大学口腔医学院2名が来学、本学から西安第四軍医大学口腔医学院へ2名の教員を派遣した。

海外協定校との学生交流については、シドニー大学歯学部から5名の学生が、北京大学口腔医学院から学生3名と教員1名が本学へ来学し、活発なディスカッションにより交流を深めた。

また、本学からの派遣としては、南方医科大学口腔医学院に学生6名（第2、3学年）、シドニー大学歯学部（第3、4学年）、コロンビア大学歯学部（第5学年）が参加し、学生の勉学に対する意欲の向上に役立った。

米国コロンビア大学との共同企画プログラムである Osaka Dental University/Columbia University College of Dental Medicine Continuing Education Program が平成24年7月9日から7月12日まで同大学で開催された。本学からは、川添理事長・学長を筆頭に、総勢23名の先生方が参加した。このプログラムは、コロンビア大学歯学部の誇るインプラント治療医9名の講師陣による講義を通じて米国における口腔インプラント治療の最新技術を習得するセミナーであり、少人数制による密度の濃い内容であった。

### ○臨床研究に関する利益相反関係規程の検討

利益相反に関しては、本学はすでに「学校法人大阪歯科大学利益相反検討委員会規程」（平成21年9月）、「学校法人大阪歯科大学利益相反ポリシー」（平成23年4月）を制定しているが、臨床研究を強化するため、平成25年4月に臨床研究における利益相反に関する検討委員会を設置すべく規程を検討している。

### ○本学の情報公開について

本学では、ホームページに情報公開の項目を設けて、ステークホルダーのためにその充実を図っている。掲載内容は、次のとおりとなっている。

1. 教育研究の基礎情報
  - ・学部・学科、大学院研究科の教育方針、大学院案内
  - ・専任教員数
  - ・教育環境（キャンパス案内、アクセス、教育施設）
  - ・学費
2. 修学上の情報
  - ・教員組織（教員一覧、教室・講座案内（教員の研究業績））
  - ・入学定員、在学者詳細
  - ・授業科目・内容
  - ・卒業に必要な単位
  - ・学生支援
  - ・学生が修得すべき科目の特長

3. 財務情報・事業報告書（平成20年度から平成23年度まで）  
資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表、財産目録、  
監査報告書、事業報告書

### ○財務情報の公開

平成16年に私立学校法が改正され、財務諸表（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表）等の備え付けと利害関係人（ステークホルダー）への閲覧が義務付けとなっている。

すでに本学では、ホームページ、広報誌<ODUNews>において財務情報について公開しており、ステークホルダーへの対応は整備してきたところである。このような中で、従来からの大学の財務情報公開に関する文部科学省の方針や各大学での開示基準制定の動きを踏まえ、平成25年3月理事会における審議を経て、財務情報公開規程を新たに定めることとなった（平成25年3月29日施行）。

### ○事務組織と事務分掌規程の改正

私立大学共通の課題として、各大学の建学の精神を具現化するために教員と職員の人材育成向上が必須となってきた。

歯科医学総合学園としての本学で職務に従事する職員の資質向上が必要であることは言うまでもないが、同時に教育・研究・診療の高度化に伴い、事務組織の不断の見直しも重要であることは言うまでもない。

本学においても、平成9年の楠葉学舎への大学機能の移転時に、大学組織改革に伴い、関係セクションの新設が行われるとともに事務分掌規程の改正を行ってきたところである。今回創立100周年を経て、平成25年3月に創立100周年記念館が竣工し、新たな教育体制が整備されたのを契機とし、全般的に事務組織・事務分掌規程の見直しを図った。

- ①法人事務部を廃止し、法人事務局のもとに経理部、大学管理部、大学企画部、大学事務部、病院事務部の5つの部を置いた。
- ②内部監査室を法人事務局から独立させた。
- ③総務課に人権担当、広報担当、牧野事務室を集約した。
- ④大学庶務課に記念館事務室を置いた。
- ⑤病院庶務課に卒後研修担当を置いた。

というものである。



## ○教育施設整備・各種補助金・助成金関係

### 【創立100周年記念館】

天満橋学舎（大阪府中央区大手前1丁目5番17号）

4階建て鉄骨造、総工費10億2677万3900円

### 【平成24年度における私立大学等経常費補助金】

一般補助は、4億5357万1千円で、そのうち特別補助は3284万3千円である。

特別補助の項目は、次のとおりである。

- ・成長分野の推進と成長力強化に貢献する人材育成（社会福祉施設体験学習）
- ・大学等の国際交流の基盤整備への支援（外国人留学生特別選抜入試）
- ・大学院における研究の充実（大学院歯学研究科）
- ・研究施設運営支援（中央歯学研究所）
- ・授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実（大阪歯科大学共済会奨学制度）

### 【平成24年度私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）】

走査型X線光電子分光分析装置 2, 660万円

### 【平成24年度私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費）】

歯科診療チェアユニット及びファントム 3, 150万円

### 【平成24年度科学研究費補助金】

本学の交付状況は、次のとおりである。

基盤研究（C）36件、挑戦的萌芽研究1件、若手研究（B）23件、  
研究活動スタート支援 1件 合計61件 9, 984万円

### 【厚生労働省 成育医療研究開発事業費】

（成育医療研究開発事業費）

1件 100万円

### 【一般財団法人京都工場保健会】

1件 15万円

## 【特例財団法人山崎歯学振興財団】

1 件 30 万円

### ○地域との交流

#### 【第20回大阪歯科大学公開講座】

本年度も市民を対象とした公開講座を開催した。

「歯との長いお付き合い」をメインテーマに、大阪市内で平成24年9月1日、8日、枚方市で平成25年2月23日、3月2日に開催し、多数の市民が参加して好評であった。

#### 【市民への施設開放】

市民へのグラウンド（長尾校地・牧野学舎の一部）、テニスコート（楠葉）などの施設開放を行った。

#### 【枚方市との連携事業】

##### ・健康医療都市ひらかたコンソーシアム

本学楠葉学舎の所在地である枚方市は、健康医療都市を都市ブランドに掲げているが、同市には本学の他に、関西医科大学と摂南大学の合計3つの医療系大学があることから、これら3各大学と「連携を強化することで、市民らの健康増進や地域医療の充実を進め「健康医療都市」の実現につなげていく」ことを目的に、3大学を含む枚方市民病院等13団体の連携協力に関する協定が平成24年8月に締結され、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」が発足した。

本学の川添堯彬学長は、「枚方市とは昭和4年の本学の前身である大阪歯科大学専門学校が牧野に移転して以来のお付き合いであり、本学はその後平成9年に楠葉花園町に移転し地域に根ざした大学として歩んでいる。この協定を機に、従来から開催している公開講座や健康講座の充実や市の事業への積極的な学生の参加にも取り組み社会貢献活動に力を入れたい」と抱負を述べた。

##### ・ひらかた市民大学について

本年11月には、市民への医療に関する情報提供を目的にした「ひらかた市民大学」に本学が教員を派遣した。

#### IV. 附属病院の改革

1. 収支改善による健全経営戦略
2. 先進医療の態勢整備
3. 病院運営貢献者への顕彰・報奨
4. B/C考慮の支出、経費の見直し
5. 各部署の収支改善策を提案・実行

収支改善を目標に改革を進めてきており、平成23年度の病院収入については、大学全体の収支状況を考慮すると、さらに効率的な運営と抜本的な改革を進めていく必要がある。

平成24年4月理事会のもとに附属病院経営改善委員会が発足し、精力的に各部署の収支データを収集のうえ、慎重な審議を進めた結果、次年度に向けて土曜日の開院を決定（平成25年2月）して、その環境整備を開始した。

平成24年度の初診患者数は、2万4429人、一日平均100.95人で対前年度比2.54%の増加であった。

平成24年度の外来・入院患者の延べ人数は、26万8791人で、地域別では大阪府24万5766人、兵庫県1万3784人、奈良県8,641人、京都府5,953人などであり、その他に和歌山県、滋賀県、三重県、東京都、北海道、沖縄県と全国各地にわたって来院されている。

#### ○歯科医師の派遣

平成24年度の歯科巡回診療は、渡名喜村渡名喜島で実施された。本診療は平成24年5月23日～平成24年6月20日、再診療は平成24年7月3日～平成24年7月5日にそれぞれ実施された。継続している社会福祉法人阪神福祉事業団センター診療所、日本放送協会（大阪放送局）への派遣、白浜アドベンチャーワールドの動物歯科検診を行った。また、本学附属病院に隣接する国家公務員共済組合連合会大手前病院への訪問歯科診療が継続実施されている。

#### ○歯科医師臨床研修

平成18年度から必修化された歯科医師臨床研修に関しては、制度発足当初から積極的に取り組んでいる。症例報告会が3月14日（木）に、修了証書授与式及び症例報告会の表彰が3月26日（火）に行われた。

修了者は、プログラムS（単独型）28名、プログラムC（複合型）74名合計102名であった。研修歯科医受入施設は、49施設であった。

### ○病診連携講演会（懇談会）

平成24年度で10回目の講演会が、平成25年2月16日（土）に開催された。

### ○地域医療連携室の設置

大阪府等地域の歯科医院、病院との連携を深めることを目的に平成23年4月から運営を開始した。年間紹介患者数は、約8,800名であり、連携への適格な情報管理が必要である。

### ○医療安全講習会、院内感染対策講習会等

医療安全、院内感染防止等に関する取り組みは、昨年度に引き続き講習会が開催され、多数の教職員が参加した。

「医療安全講習会」

「院内感染対策講習会」

「医薬品安全管理講習会」

「医療機器安全管理講習会」

### ○先進医療の推進

本学附属病院の「先進医療」として、平成24年6月1日付けで「歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリットレジンによる歯冠補綴」、平成25年1月1日付けで「有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査」が厚生労働省の承認を受けた。

先進医療とは、新しい医療技術の出現・患者ニーズの多様化等に対応するために、健康保険の診療で認められている一般の医療の水準を超えた最新の先進技術として、厚生労働大臣から承認された医療行為のことである。

### ○附属病院診療科の充実

「学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程」を改正して、本学教員の定員について、今回、耳鼻咽喉科学講座（定員2名）を附属病院診療科の中に移行し、診療科の定員を現行26名から28名とした。

### ○医療用機器備品整備

眼科手術用顕微鏡を更新し（2159万8500円）、正確かつ安全な手術の実施を図った。フィルムレス方式デジタル撮影システム837万9千円を新規に購入し、中央画像検査部において行われたデンタル撮影についても画像配信を可能とし、診療活動の効率化を図った。

## ○省エネルギーの取り組み

本学附属病院は、第二種エネルギー管理指定工場となっており、適正な省エネ対策が行われている。平成25年1月に省エネルギー庁による実地調査が行われ、熱心な取り組みであるとの評価を受けた。

学校法人全体でも取り組みを推進するため学校法人大阪歯科大学省エネルギー推進委員会が設置された。(平成24年10月)

## V. 両専門学校の改革

歯科技工士専門学校は、平成24年度から募集定員を45名から30名に減員するとともに、教育課程の見直しを行い、選択コースとして、「義歯専攻コース」、「CAD/CAM専攻コース」、「インプラント専攻コース」の3コースを設けた。

入学者確保については高校訪問を教員・事務職員が積極的に行ったほか、地域の郵便局に入学生募集の広告を行った。

歯科衛生士専門学校は、入学定員50名(入学者は54名)を充足している。優れた教育環境、教員人材を生かすべく周辺の学校訪問、ホームページ進学ネットへの掲載など学生を確保するための取り組みを進めた。

歯科技工士・歯科衛生士の国家試験合格率は、今年度100%であった。

## VI. 特別重点計画

1. 創立100周年記念事業の達成
2. 第22回日本歯科医学会総会の主幹校

### 1. 創立100周年記念事業の達成

## ○記念事業募金

「創立100周年記念館」建設のための募金を記念事業として行い、同窓生をはじめ教職員、父兄、専門学校卒業生、関連会社等に募金の依頼をした。募金期間終了後も募金が絶えず、募金件数は1800件を超え、募金金額は本学共済会からの3億円を含め4億7491万1740円に達した。

## ○創立100周年記念館

本学の将来を担うシンボルであり、既存の天満橋学舎附属病院本館の外観と調和しつつ、上町筋へ大学の新たな顔を創出した。この建物は、歯科医師国家試験を間近に控えた第6学年のための教育環境の改善に資するものである。

建物の概要は、鉄骨造地上4階建て、建築面積は792.94㎡となっており、平成25年3月21日に竣工した。

階数	床面積	用途
1	731.10㎡	エントランスホール、事務室、応接室
2	703.34㎡	小講義室、ゼミ室、教務学生課
3	699.98㎡	中講義室、ゼミ室、講師控室
4	747.86㎡	大講義室

## ○大阪歯科大学100年史、大阪歯科大学大学院50年史などの記念出版物の刊行

### —「大学100年史」・「大学院50年史」・「創立100周年記念の葉」—

平成21年11月に大学100年史・大学院50年史・出版物実行委員会が設けられ、第1回委員会が平成22年3月10日に開催され、本格的に編纂作業が行われた。平成24年12月12日全ての作業を終了し、無事刊行の運びとなった。

また、一連の記念式典の状況を多数の写真で記録した「創立100周年記念の葉」は、平成24年10月に刊行した。

## 2. 第22回日本歯科医学会総会の主幹校

「お口の健康 全身元気—各世代の最新歯科医療—」をメインテーマに、平成24年11月9日（金）から11日（日）まで、インテックス大阪、リーガロイヤルホテル、グランキューブ大阪の3会場で開催された。

大阪では実に21年ぶりの大会となり、本学は主幹校としてその総力を挙げて取り組んだ。

開会講演は、高橋和利氏（京都大学iPS細胞研究所 初期化機構研究部門講師）により、「iPS細胞研究の進展」をメインテーマとし、本学の川添理事長・学長を座長に多数の聴講者のもと好評を博した。本学からは学部学生、専門学校生も数多く参加し、現代科学におけるもっともホットな話題に熱心に耳を傾けていた。

大阪国際会議場では、最新の研究内容をテーマとした講演、シンポジウム、国際セッションなど多彩なプログラムが行われた。

インテックス大阪では、テーブルクリニック、分科会プログラムが開催された他、併催の日本デンタルショー2012では、最新鋭の歯科医療機器が展示され、いずれも多数の参加者で盛況であった。

また、この総会では、初めての試みとして、大阪国際会議場に国公私立歯科大学・歯学部の現在を紹介するブースが設置され、本学のほか10大学が参加して多数の大会参加者、同窓生が訪れた。

[附属資料]

1. 平成 24 年度学生数 ( ) は女子 (平成 24 年 5 月 1 日現在)

大学	第 1 学年	1 3 2 ( 4 8 )	大学院	第 1 学年	2 1 ( 1 2 )
	第 2 学年	1 4 9 ( 6 3 )		第 2 学年	3 0 ( 1 3 )
	第 3 学年	1 3 2 ( 5 6 )		第 3 学年	2 4 ( 1 2 )
	第 4 学年	1 2 5 ( 5 2 )		第 4 学年	<u>2 4 ( 1 0 )</u>
	第 5 学年	1 2 7 ( 4 4 )			9 9 ( 4 7 )
	第 6 学年	<u>1 5 1 ( 5 3 )</u>			
		8 1 6 ( 3 1 6 )			

歯科技工士専門学校	1 年	1 6 ( 3 )	専攻科 1 年	5
	2 年	<u>1 7 ( 6 )</u>	専攻科 2 年	<u>1</u>
		3 3 ( 9 )		6

歯科衛生士専門学校	1 年	5 4 ( 5 4 )
	2 年	5 4 ( 5 4 )
	3 年	<u>4 5 ( 4 5 )</u>
		1 5 3 ( 1 5 3 )

2. 第 106 回歯科医師国家試験の結果 平成 25 年 3 月 19 日合格発表

	(総 数)			(新 卒)			(既 卒)		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
本学	182	115	63.2	105	78	74.3	77	37	48.1
全国	3,321	2,366	71.2	2,373	1,907	80.4	948	459	48.4

3. 平成 25 年度入学試験状況

		(志願者)	(合格者)	(入学者)
[ 大学 ]	推薦入試	4 3	3 8	} 1 2 8
	一般入試 (前期)	1 6 8	8 7	
	一般入試 (後期)	7 5	3	
	編 入 学 (前期)	8	6	} 1 0
	編 入 学 (後期)	6	4	
[大学院]	一般入試 (一次)	9	8	} 2 5
	一般入試 (二次)	1 7	1 5	
	外国人留学生特別選抜	2	2	
[歯科技工士専門学校]	歯科技工士学科	1 8	1 7	1 5
	専攻科	1 1	1 1	1 1
[歯科衛生士専門学校]		7 6	5 4	5 1



4. 大学・大学院入学式 平成24年4月5日(木) 午前10時(於:楠葉学舎)
5. 平成23年度会計実査 平成24年4月5日(木)
6. 平成24年度大学新入生研修
  - 平成24年4月9日(月) 午前9時(於:牧野学舎)
  - 4月10日(火) 午前9時(於:楠葉学舎)
7. ハイテク・リサーチ・センター整備事業「歯周病に対する戦略的研究」
  - 第2回研究成果報告会 平成24年4月21日(土) 午前11時(於:楠葉学舎)
8. 平成24年度FD研修会
  - ・第1回 平成24年5月9日(水) 午後5時～午後6時40分(於:楠葉学舎)  
「共用試験歯学系 CBT 試験問題作成について」 59名出席
  - ・第2回 平成24年5月14日(月) 午後5時10分～午後6時40分  
「共用試験歯学系 CBT 試験問題作成について」 90名出席(於:天満橋学舎)
  - ・第3回 平成24年8月31日(金)、9月1日(土) 44名出席  
「第6回カリキュラムプランニングのためのワークショップ開催について」  
(於:ホテルコスモスクエア国際交流センター)
  - ・第4回 平成24年9月26日(水) 午後4時～午後5時(於:楠葉学舎)  
「教員による授業参観」 11名出席
  - ・第5回 平成25年2月2日(土) 午前9時～午後5時(於:楠葉学舎)  
「問題作成に関するワークショップ」 32名出席
9. 体育総会 平成24年5月12日(土) 午後2時(於:楠葉学舎)
10. 平成23年度監事監査 平成24年5月14日、15日(於:楠葉学舎)
11. 解剖体慰霊祭 平成24年5月18日(金) 午後2時(於:四天王寺)
12. オープンキャンパス(於:楠葉学舎)
  - ・第1回 平成24年5月27日(日) 午前11時～午後4時 38名参加
  - ・第2回 平成24年7月22日(日) 午前11時～午後4時 94名参加
  - ・第3回 平成24年8月26日(日) 午前11時～午後4時 97名参加
  - ・第4回 平成24年11月3日(土) 午前10時～午後12時10分 31名参加
  - ・第5回 平成24年11月4日(日) 午前10時～午後12時10分 40名参加

13. 大学父兄会・共済会総会（於：楠葉学舎）  
平成 24 年 6 月 30 日（土）午後 1 時 父兄出席者数 295 名
14. 平成 24 年度薬物乱用防止講演会  
平成 24 年 7 月 10 日（火）午前 10 時 30 分（於：楠葉学舎）  
講師 大阪府警察本部刑事部薬物対策課 小川 浩一 警部  
対象者：第 1 学年、約 140 名出席（教職員含む）
15. 第 44 回全日本歯科学学生総合体育大会（当番校：鹿児島大学歯学部）  
平成 24 年 8 月 1 日（水）～13 日（月） 総合第 7 位
16. 平成 24 年度地方父兄会（四国地区）（於：JR ホテルクレメント高松）  
平成 24 年 8 月 12 日（日）午後 1 時 父兄出席者数 12 名
17. スチューデントアシスタントの採用  
11 名（1 年 4 名、2 年 5 名、5 年 2 名）を採用
18. 大学特待生の採用  
第 2 学年 2 名・第 3 学年 1 名・第 4 学年 2 名、授業料 100 万円免除  
第 5 学年 2 名・第 6 学年 2 名、授業料半額免除
19. 大学学内奨学生選考  
4 名の学生に対して総額 3,500,000 円の奨学金を貸与
20. 平成 24 年度教職員子弟の大学授業料減免  
6 名減免 計 6,000,000 円
21. 第 20 回公開講座
  - ・メインテーマ 「歯との長い付き合い」
  - ・日程 天満橋講座 平成 24 年 9 月 1 日（土）、8 日（土）  
受講者延べ 225 名（於：天満橋学舎）  
枚方講座 平成 25 年 2 月 23 日（土）、3 月 2 日（土）  
受講者延べ 352 名（於：楠葉学舎）  
(時間はいずれも午後 1 時～午後 3 時 30 分)
22. 第 6 学年父兄懇談会（於：楠葉学舎）  
平成 24 年 9 月 17 日（月）午後 1 時 父兄出席者数 70 名

23. 平成 24 年度大学祭 (テーマ : START)
  - ・ 体育祭 平成 24 年 10 月 27 日 (土) (於 : 牧野学舎)
  - ・ 文化祭 平成 24 年 11 月 3 日 (土)、4 日 (日) (於 : 楠葉学舎)
  
24. 第 22 回日本歯科医学会総会 (主幹校 : 大阪歯科大学)  
平成 24 年 11 月 9 日 (金) ~ 11 日 (日)  
(於 : 大阪国際会議場、インテックス大阪)  
「お口の健康 全身元気 — 各世代の最新歯科医療 —」
  
25. 平成 24 年度自衛消防訓練  
楠葉学舎 平成 24 年 11 月 19 日 (月)  
牧野学舎 平成 24 年 12 月 3 日 (月)  
天満橋学舎 平成 24 年 10 月 2 日 (火)
  
26. 実験動物慰霊祭 平成 24 年 11 月 30 日 (金) 午後 1 時 30 分 (於 : 牧野学舎)
  
27. 平成 24 年度全学教職員忘年慰労会 平成 24 年 12 月 28 日 (於 : 天満橋学舎)
  
28. 平成 25 年新年互礼会 平成 25 年 1 月 7 日 (於 : 楠葉学舎)
  
29. 平成 24 年度解剖体遺骨返還式 (於 : 楠葉学舎)  
平成 25 年 2 月 22 日 (金) 午後 2 時
  
30. 平成 24 年度共用試験歯学系 CBT 並びに OSCE
  - ・ CBT 平成 25 年 3 月 1 日 (金) 午前 9 時 30 分 (於 : 楠葉学舎)
  - ・ OSCE 平成 25 年 3 月 17 日 (日) 午前 9 時 30 分 (於 : 天満橋学舎)
  
31. 平成 24 年度卒業式並びに大学院学位認証式  
平成 25 年 3 月 8 日 (金) 午前 10 時 (於 : 楠葉学舎)
  
32. 平成 24 年度歯科医師臨床研修修了証書授与式  
平成 25 年 3 月 26 日 (火) 午後 2 時 30 分 (於 : 天満橋学舎)
  
33. 平成 25 年度臨床研修歯科医の募集定員  
単独型研修方式 40 名、複合型研修方式 120 名
  
34. 楠葉学舎「医務室」の開設 (平成 24 年 4 月 1 日)  
嘱託医師 勤務日時 : 毎週木曜 10 時から 16 時まで

35. 大阪歯科大学創立 100 周年記念館

- ・起工式 平成 24 年 4 月 17 日 (火) 午前 10 時
- ・竣工式 平成 25 年 3 月 21 日 (木) 午前 10 時

36. 学位授与

- 学位記番号 甲第 692 号～ 715 号 24 名に学位記授与
- 学位記番号 乙第 1574 号～1575 号 2 名に学位記授与

37. 平成 24 年度法人理事会・法人評議員会・主任教授会・教授会・大学院研究科会議

1) 法人理事会 14 回開催

(平成 24 年 4 月 24 日、5 月 24 日(2 回)、6 月 28 日、7 月 26 日、  
8 月 23 日、9 月 27 日、10 月 25 日、11 月 29 日、12 月 28 日、  
平成 25 年 1 月 24 日、2 月 28 日、3 月 29 日(2 回))

2) 法人評議員会 2 回開催

(平成 24 年 5 月 24 日、平成 25 年 3 月 29 日)

3) 主任教授会 20 回開催

(平成 24 年 4 月 11 日、5 月 9 日、6 月 13 日、7 月 18 日、8 月 8 日、  
9 月 12 日、10 月 10 日、11 月 5 日、11 月 14 日、11 月 21 日、11 月 28 日、  
12 月 12 日、12 月 26 日、平成 25 年 1 月 9 日、1 月 25 日、1 月 31 日、  
2 月 13 日、3 月 6 日、3 月 13 日、3 月 28 日)

4) 教授会 2 回開催

(平成 24 年 4 月 11 日、平成 25 年 3 月 28 日)

5) 大学院研究科会議 16 回開催

(平成 24 年 4 月 23 日、5 月 23 日、6 月 27 日、7 月 25 日、8 月 22 日、  
9 月 26 日、10 月 10 日、10 月 24 日、11 月 28 日、12 月 26 日、  
平成 25 年 1 月 23 日、2 月 13 日、2 月 27 日、3 月 27 日)

38. 本学関係 叙位・褒章・叙勲の受章者等

1) 叙位

故 太田 義邦 名誉教授 正五位 (平成 24 年 6 月 6 日付)

2) 褒章

大学 19 回 福島 善彦 高知県 藍綬褒章 共 2 名

3) 叙勲

専門 31 回 成瀬 悟 大阪府 瑞宝小綬章 共 11 名

39. 川添理事長・学長

- ・日本私立大学協会常務理事就任 (任期：平成 24 年 4 月 27 日～平成 28 年 3 月 31 日)

- ・日本私立歯科大学協会副会長就任  
(任期：平成24年6月29日～平成25年3月31日)
- ・文部科学省 歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議委員就任  
(任期：平成24年7月1日～平成26年3月31日)
- ・健康医療都市ひらかたコンソーシアム副会長就任

#### 40. 枚方市との連携協定等

- ・枚方市との連携協定締結（平成24年7月18日付）
- ・健康医療都市ひらかたコンソーシアム協定締結（平成24年8月4日付）  
枚方市と12団体（保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、3大学、5病院）

#### 41. 教職員数（平成25年3月1日現在：392名）

- 1) 大学 375名  
教員数 201名  
学長1名、主任教授25名、専任教授5名、准教授31名、講師62名、  
助教74名、病院教授2名、病院助教1名  
職員数 174名  
事務・技術75名、医療98名、労務1名
- 2) 歯科技工士専門学校 9名  
教員7名、事務2名
- 3) 歯科衛生士専門学校 8名  
教員6名、事務2名

#### 42. 人事

1. 法人関係  
依願退職 法人顧問 増田 次郎
2. 退職
  - 1) 定年退職  
薬理学講座 准教授 篠原 光子 共11名
  - 2) 依願退職  
内科学講座 講師 長野 豊 共24名
  - 3) 任期制教員任期満了退職  
薬理学講座 助教 石塚 智子 共2名
  - 4) 再雇用契約満了退職  
附属病院 放射線技師 櫻井 邦昭 共3名
  - 5) 死亡退職  
内部監査室 室長 安藤 孝幸（平成24年8月19日付）

### 3. 昇任

#### 1) 主任教授

物理学教室 准教授 辻林 徹 (平成 24 年 5 月 1 日付)

#### 2) 退職に伴う教授特別昇任

薬理学講座 准教授 篠原 光子 共 4 名

#### 3) 准教授

有歯補綴咬合学講座 講師 田中 順子

#### 4) 退職に伴う准教授特別昇任

歯科麻酔学講座 講師 百田 義弘

#### 5) 講師

歯科保存学講座 助教 谷本 啓彰 共 4 名

#### 6) 講師昇任及び所属変更

口腔病理学講座 助教 益野 一哉 新所属：歯科医学教育開発室

#### 7) 専門学校教務主任

歯科衛生士専門学校 頭山 高子

#### 8) 職員

大学事務部長 牧谷 弘幸 共 9 名

### 4. 任用

#### 1) 助教

歯科保存学講座 博士 (歯学) 宮地 秀彦 共 16 名

#### 2) 大学院教員

大学院教授 諏訪 文彦 共 21 名、大学院准教授 竹村 明道 共 22 名

大学院講師 上村 守 共 29 名、大学院助教 戸田 伊紀 共 25 名

#### 3) 臨床教授

口腔インプラント科 江藤 隆徳 共 2 名

#### 4) 専門学校教員

歯科衛生士専門学校 助手 寺島 雅子 共 2 名

#### 5) 職員

附属病院 看護師 小川 千鶴 共 6 名

#### 6) 任期付事務職員新規採用

教務学生課 課長 中山 勝美

### 5. 任期制教員契約更新

化学教室 助教 牧田 佳真 共 11 名

### 6. リサーチ・アシスタント採用

病理学 RA 嘉藤 弘仁 共 5 名

### 7. 所属異動

法人事務部 亀井 崇 共 12 名

8. 兼務 教務学生課 課長 松村 誠一 共3名
9. 定年退職後再雇用  
総務課総務担当 事務職員 仲宗根 幸男 共4名
10. 定年退職後再々雇用  
附属病院 放射線技師 櫻井 邦昭 共3名
11. 委嘱
- 1) 大学役職者 (平成24年4月1日付)
- |            |        |
|------------|--------|
| 副学長        | 諏訪 文彦  |
| 総務部長       | 小正 裕   |
| 教務部長       | 田中 昭男  |
| 学生部長       | 川合 進二郎 |
| 図書館長       | 小谷 順一郎 |
| 附属病院病院長    | 覚道 健治  |
| 大学院研究科科長   | 西川 泰央  |
| 中央歯学研究所所長  | 武田 昭二  |
| 教育情報センター所長 | 佐ノ木 幸夫 |
| 国際交流部長     | 山本 一世  |
| 附属病院副病院長   | 森田 章介  |
| 附属病院副病院長   | 林 宏行   |
| 附属病院副病院長   | 田中 昌博  |
- 2) Honorary Visiting Professor  
英国キングスカレッジロンドン大学 歯学部長 Elizabeth Dianne Rekow
- 3) 客員教授  
大阪歯科大学附属病院 元病院教授 北條 博一 共6名
- 4) Visiting Professor  
韓国慶熙大学校歯科大学 教授 Young-Guk Park 共7名
- 5) 平成24年度講師 (非常勤) 解剖学講座 清水 孝治 共413名  
平成24年度大学院講師 (非常勤) 解剖学 江原 大輔 共48名  
(以上 平成24年4月1日付)
- 6) 産業医 内科学講座 准教授 大久保 直 共2名
- 7) 嘱託 梅垣麻酔科クリニック 院長(医師) 梅垣 裕 共20名
- 8) 病院医員 61名
- 9) 臨床准教授称号付与 2名
- 10) 臨床講師 77名
- 11) 平成24年度ポストドクトラルフェロー  
歯内治療学 柿木 栄幸 共2名
- 12) 平成24年度ティーチングアシスタント委嘱

病理学専攻科 国分 麻佑 共8名

13) 学生相談室カウンセラー委嘱

臨床心理士 畑 聡美 共2名

14) 各種委員会委員長

(1) 大学関係（平成24年4月1日付）

総務部委員会委員長	小正 裕
教務部委員会委員長	田中 昭男
廃棄物処理委員会委員長	小正 裕
図書館運営委員会委員長	小谷順一郎
図書資料選択委員会委員長	小谷順一郎
学生部委員会委員長	川合進二郎
学内食堂管理運営委員会委員長	川合進二郎
教育情報センター管理運営委員会委員長	佐ノ木幸夫
健康管理委員会委員長	覚道 健治
国際交流部委員会委員長	山本 一世
学術研究奨励助成金交付審査委員会委員長	
兼共同研究助成審査委員会委員長	田中 昭男
カリキュラム委員会委員長	諏訪 文彦
共用歯学C B T委員会委員長	西川 泰央
共用歯学O S C E実行委員会委員長	山本 一世
ブラッシュアップ委員会委員長	松本 尚之
F D委員会委員長	森田 章介
入試委員会委員長	田中 昭男
公開講座委員会委員長	清水谷公成
セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員長	川添 堯彬
サイバーキャンパス審議委員会委員長	佐ノ木幸夫
ホームページ委員会委員長	佐ノ木幸夫
知的財産委員会委員長	覚道 健治
教員評価委員会委員長	川添 堯彬
大学院委員会委員長	西川 泰央
中央歯学研究所委員会委員長	武田 昭二

(2) 法人関係

財務企画委員会委員長	川添 堯彬
財務企画委員会病院の運営に関する事項部会部会長	覚道 健治
財務企画委員会牧野学舎将来計画作業部会部会長	下村錢三郎
財務企画委員会給与部会部会長	三谷 卓
財務企画委員会経営部会部会長	下村錢三郎



退職資金管理運営委員会委員長	三谷 卓
業者登録選考委員会委員長	下村錢三郎
学術研究奨励基金管理運営委員会委員長	下村錢三郎
環境管理委員会委員長	覚道 健治
枚方資料センター管理運営委員会委員長	覚道 健治
予算委員会委員長	下村錢三郎
人事委員会委員長	三谷 卓
自己点検運営委員会委員長	川添 堯彬
自己点検実施委員会委員長	川添 堯彬
ODUウェルネス・ホール管理運営委員会委員長	小正 裕
広報委員会委員長	川添 堯彬
人権啓発推進委員会委員長	川添 堯彬
個人情報保護委員会委員長	川添 堯彬
個人情報保護委員会大学部門委員会委員長	諏訪 文彦
個人情報保護委員会病院部門委員会委員長	覚道 健治
個人情報保護委員会事務部門委員会委員長	牧谷 弘幸
大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会委員長	下村錢三郎
資産運用検討委員会委員長	伊達 洋彦
学校法人大阪歯科大学利益相反検討委員会委員長	覚道 健治
専門学校の大学・短大化に関する検討委員会委員長	三谷 卓
附属病院経営改善委員会委員長	川添 堯彬
学校法人大阪歯科大学省エネルギー推進委員会委員長	下村錢三郎
楠葉学舎衛生委員会委員長	川合進二郎
天満橋附属病院衛生委員会委員長	清水谷公成

- 15) 学年指導教授・助言教員・特別アドバイザー（平成24年4月1日現在）
- 学年指導教授 1年 藤原 眞一、2年 武田 昭二、3年 西川 泰央  
4年 松本 尚之、5年 山本 一世、6年 岡崎 定司
- 副指導教授 6年 梅田 誠
- 教育アドバイザー 1・2・3・4・6年 王 宝禮、5年 有田 清三郎
- 助言教員 1年 李 嘉永 共8名、2年 中塚 美智子 共8名  
3年 西川 哲成 共8名、4年 川崎 弘二 共8名
- 特別アドバイザー 5年 吉峰 茂樹 共11名、6年 竹村 明道 共22名
- 16) 平成24年度学友会会長 主任教授 松本 尚之

#### 43. 学外活動

##### 1) 教授海外視察

歯科矯正学講座 主任教授 松本 尚之

- 2) 教員海外研修  
 歯科麻酔学講座 助教 讃岐 拓郎 共3件
- 3) 教員海外出張  
 学長 川添 堯彬 共136件
- 4) 特別研究員派遣  
 歯科麻酔学講座 講師・百田 義弘 共1名  
 派遣先：徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部  
 ライフシステム部門 生命システム工学  
 期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日（年2回）
- 5) 共同研究員受入  
 長浜バイオ大学 環境微生物学研究室4回生 大黒 健二  
 受入講座：細菌学講座（期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日）  
 共5件
- 6) 外国人共同研究者受入  
 氏名 Shuchi Tripathi  
 所属 Department of Prosthodontics, Faculty of Dental Sciences C. S. M.  
 Medical University  
 受入講座：有歯補綴咬合学講座  
 期間：平成24年9月2日～平成24年10月1日
- 7) 国際交流
- (1) 中国5大学との共同研究
- ・受入  
 北京大学口腔医学院 2名（期間：平成24年8月24日～9月4日）
  - ・派遣  
 西安第四軍医大学口腔医学院（期間：平成24年9月13日～17日）  
 歯科麻酔学講座 小谷教授、佐久間准教授
- (2) 海外協定校との学生交流
- ・受入  
 シドニー大学 学生5名（期間：平成24年11月24日～12月7日）  
 北京大学 学生3名、教員1名（期間：平成24年11月25日～12月1日）
  - ・派遣  
 南方医科大学口腔医学院 学生6名（2年2名、3年4名）  
 引率教員：大島講師（期間：平成24年7月17日～22日）  
 シドニー大学歯学部 学生5名（3年3名、4年2名）  
 引率教員：蠅庭講師（口外Ⅱ）（期間：平成24年8月4日～13日）  
 コロンビア大学歯学部 学生9名（5年）  
 引率教員：藤田准教授（英語）（期間：平成25年3月9日～19日）

- (3) King's College London Rekow 歯学部長 特別講演  
平成 24 年 11 月 7 日 (水) 午後 4 時 (於：天満橋学舎)

#### 44. 補助金・助成金

- 1) 平成 24 年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金交付 (13 件)  
助成金交付額 3,900,000 円
- 2) 平成 24 年度大阪歯科大学学術研究奨励資金 3,429,000 円
- 3) 平成 24 年度科学研究費補助金交付 (文部科学省)
  - ・基盤研究 (C) 36 件
  - ・挑戦的萌芽研究 1 件
  - ・若手研究 (B) 23 件
  - ・研究活動スタート支援 1 件 計 61 件 補助金交付額 76,800,000 円  
(間接経費 23,040,000 円 合計 99,840,000 円)
- 4) 平成 24 年度私立大学等経常費補助金交付額 453,571,000 円
- 5) 平成 24 年度私立大学等研究設備整備費等補助金 (私立大学等研究設備等整備費)  
「走査型 X 線光電子分光分析装置」 交付額 26,600,000 円
- 6) 平成 24 年度私立学校施設整備費補助金 (私立学校教育研究装置等施設整備費  
(私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費))  
「歯科診療チェアユニット及びファントム」 交付額 31,500,000 円
- 7) 平成 24 年度臨床研修費等補助金交付額 108,565,000 円
- 8) 国際交流助成  
歯科放射線学講座 主任教授 清水谷 公成 共 61 名に対し 13,536,241 円  
の助成
- 9) 寄贈  
大阪歯科大学共済会 理事長 川添 堯彬 共 5 件合計として 300,000,000 円

#### 45. 諸規程

- 1) 大阪歯科大学学則 (一部改正)
- 2) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程 (一部改正)
- 3) 任期制教員の再任用基準に関する申し合わせ (一部改正)
- 4) 大阪歯科大学大学院歯学研究科専攻科教員任用規程 (一部改正)
- 5) 大学院教授候補者資格審査に関する申し合わせ事項 (一部改正)
- 6) 大学院教員の資格条件に関する申し合わせ事項 (一部改正)
- 7) 学校法人大阪歯科大学経理規程 (一部改正)
- 8) 大阪歯科大学附属病院病院医員就業規則 (一部改正)
- 9) 大阪歯科大学附属病院臨床研修歯科医就業規則 (一部改正)
- 10) 臨床准教授称号付与の選考基準に関する申し合わせ (施行)

- 11) 大阪歯科大学歯科技工士専門学校学則（一部改正）  
(以上 平成 24 年 4 月 1 日付)
- 12) 大阪歯科大学学生部委員会規程（一部改正）  
(平成 24 年 4 月 11 日付)
- 13) 学校法人大阪歯科大学診療報酬手当規程（一部改正）  
(平成 24 年 4 月 24 日付)
- 14) 学校法人大阪歯科大学任期付事務職員就業規則（施行）  
(平成 24 年 5 月 24 日付)
- 15) 大阪歯科大学特別聴講生に関する申し合わせ（一部改正）  
(平成 24 年 6 月 28 日付)
- 16) 臨床研修歯科医表彰候補者選考委員会規程（施行）  
(平成 24 年 7 月 4 日付)
- 17) 学校法人大阪歯科大学衛生委員会規程（施行）  
(平成 24 年 7 月 26 日付)
- 18) 大阪歯科大学大学院歯学研究科専攻科教員任用規程（一部改正）
- 19) 学校法人大阪歯科大学事務職員等人事評価規程（施行）
- 20) 学校法人大阪歯科大学育児休業等規程（一部改正）
- 21) 学校法人大阪歯科大学介護休業等規程（一部改正）  
(以上 平成 24 年 9 月 27 日付)
- 22) 学校法人大阪歯科大学省エネルギー推進委員会規程（施行）  
(平成 24 年 10 月 25 日付)
- 23) 第 1 学年～第 4 学年の再入学申合せ事項（施行）  
(平成 25 年 1 月 24 日付)
- 24) 学校法人大阪歯科大学財務情報公開規程（施行）  
(平成 25 年 3 月 29 日付)